

2024年度（第32回）医療事故防止セミナープログラム

テーマ「医療事故や災害に備えて」

開催日：2024年11月28日（木）

会 場：東京「全国都市会館」3階 第2会議室

時 間	講演内容・講師等敬称略
9:30～	受 付
9:55～10:00	開 会 挨拶 邊 見 公 雄 一般社団法人全国公私病院連盟 会長
10:00～11:30 (90分間)	講 演 I 「日本医療安全調査機構の取り組み」 講 師 門 脇 孝 一般社団法人 日本医療安全調査機構 理事長 座 長 邊 見 公 雄 一般社団法人全国公私病院連盟 会長 赤穂市民病院 名誉院長
11:30～12:30	昼 食 休 憩
12:30～13:20 (50分間)	講 演 II 「医療安全管理室の役割と取り組み」 講 師 田 中 真 咲 神戸市立医療センター中央市民病院 看護部 副部長・医療安全管理室 副室長 座 長 辻 井 正 彦 一般社団法人全国公私病院連盟 副会長 地方独立行政法人市立東大阪医療センター 総長
13:20～13:30	休 憩
13:30～14:20 (50分間)	講 演 III 「院内医療事故調査とその公表のやり方」 講 師 井 上 清 成 井上法律事務所 弁護士 座 長 辻 井 正 彦 一般社団法人全国公私病院連盟 副会長 地方独立行政法人市立東大阪医療センター 総長
14:20～14:30	休 憩
14:30～15:20 (50分間)	講 演 IV 「基幹災害拠点病院として経験した令和6年能登半島地震 －備え・対応・課題－」 講 師 岡 田 俊 英 石川県立中央病院 院長 座 長 邊 見 公 雄 一般社団法人全国公私病院連盟 会長 赤穂市民病院 名誉院長
15:20～15:50 (30分間)	質 疑 応 答 (セ ミ ナ ー 全 体)
15:50～16:00	閉 会 挨拶 邊 見 公 雄 一般社団法人全国公私病院連盟 会長

加盟団体

全国自治体病院協議会
全国済生会病院長会

全国公立病院連盟
岡山県病院協会

全国厚生農業協同組合連合会
日本私立病院協会

日本赤十字社病院長連盟
日本公的病院精神科協会

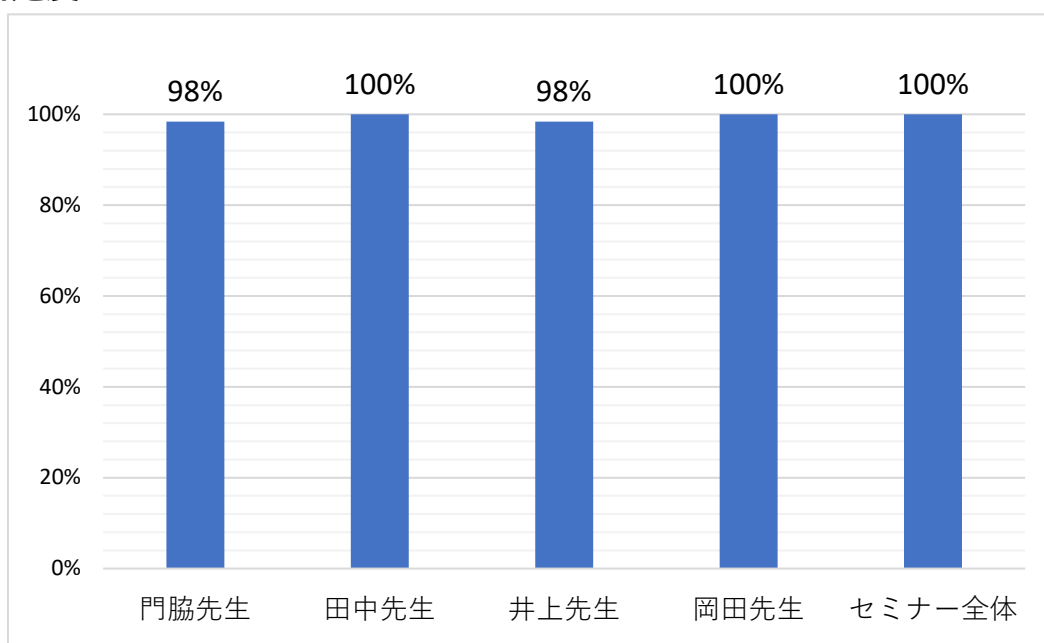
主 催： 一般社団法人 全国公私病院連盟
企画協力： 株式会社 公私病連共済会

第32回 医療事故防止セミナー アンケート結果

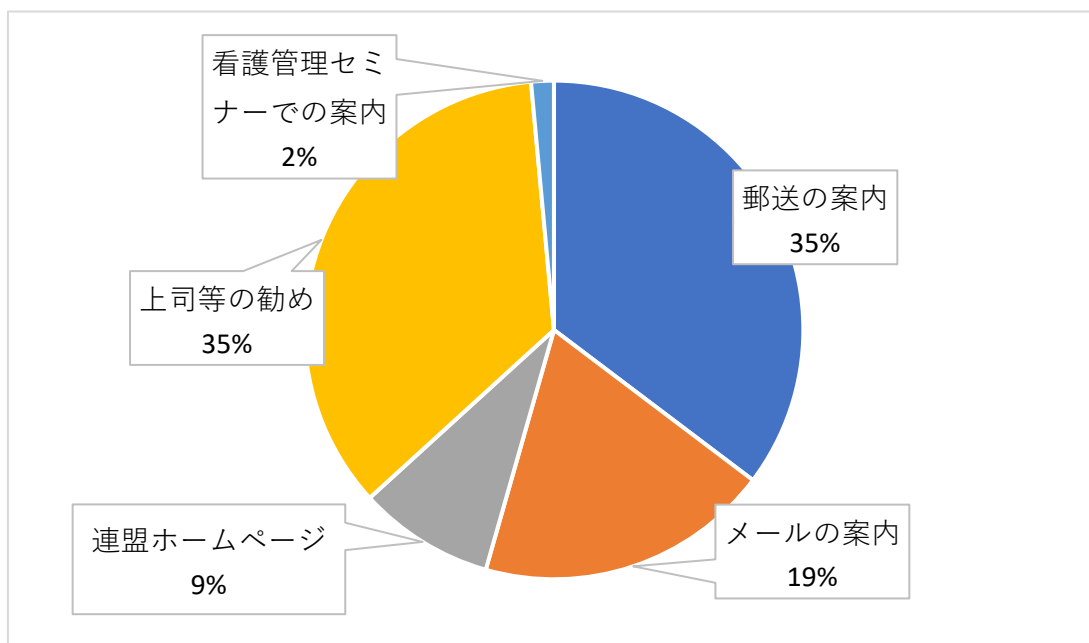
令和6年11月28日開催
全国都市会館「第2会議室」

- ◆参加者数 67 名
◆アンケート回答者数 63 名（回答率 94.0%）

◆満足度



◆セミナーを知ったきっかけ



●各講義内容について

① 門脇先生

- ・ 日本医療安全調査機構は医療安全管理業務に従事する医療者の心強いアドバイザーであることを改めて認識した
- ・ 10年の取り組みと医療事故調査制度について理解できた。ビデオでもさらに理解が深まった。
- ・ ビデオを使った対応策など具体的でわかりやすかった。ヒヤリハット対策など院内の具体的内容が聞けて参考になった。
- ・ ヒューマンエラーに対し、いかに同じことを繰り返さないための取り組みをどうすべきか理解できた。
- ・ 院長の意識と院内の風土による第三者委員会の難しさを知った。
- ・ 医療事故発生時の初期対応がとてもわかりやすかった。当院の研修でも取り組みを行っていききたい。
- ・ レポートは宝の山と聞いて、レポート提出に対し前向きに捉えられた。
- ・ 医療事故の再発防止に向けた提言を参考にエビデンスに基づく医療安全に取り組みたい。
- ・ スライド内容の読み上げであれば資料配布のみでよい。記載にないことを話してほしい。
- ・ 時間厳守でお願いします。
- ・ 質疑応答が長くタイムスケジュールを考えてほしい。

② 田中先生

- ・ 他院の実践方法を知ることができてよかった。
- ・ 具体的な活動内容を示していただきすぐ当部署へ活かせることができる。
- ・ 医療安全管理者としての活動でたくさんのヒントがあった。
- ・ 医療安全管理室の具体的な取り組み、活動がわかった。参考もモデルにしたい。
- ・ 対策を立てるのはよいが、徹底させることが大切。
- ・ 規模は違うが改善してきた実例などが聞けて取り入れられるか検討していきたい。
- ・ 当院も今年から医療安全管理加算Ⅰを取得したが、どう動いてよいか悩んでいたのが参考になった。現場に持ち帰り検討していきたい。
- ・ 当院では医療安全管理者は病棟師長と兼任であるため、院内の医療安全体制は課題が多く、講義内容を参考にしたい。
- ・ レポートを出した後の周知方法やニュースレターでスタッフだけでなく患者に対しても注意喚起は有効だと思った。
- ・ 当院でも医療安全ニュースは発行しているがわかりづらいレイアウトなので検討したい。
- ・ インシデントの同じ事例などフィードバックの仕方など参考にしたい

③ 井上先生

- ・ 弁護士から貴重な話を聞くことができ感銘を受けた。
- ・ 弁護士の立場で話をしていただくと説得力がある。
- ・ 医療者を守ることは医療安全のコーディネートにかかってくると感じた。
- ・ 普段聞けない内容の話でよかった。警察への届け出やマスコミ対応など院内でも共通認識する必要があると思った。
- ・ 「院内の職員を守れ」秘匿性がとても大事だと思った。
- ・ スタッフを守る環境がスタッフの仕事のしやすさにもつながるのでカスハラ対策は必要だと感じた。
- ・ カスハラのことをもっと聞きたかった。
- ・ 知りたい内容が簡潔明瞭な話でわかりやすく、また楽しく学ぶことができた。
- ・ 報告しなければならないと思っていた考え方が一掃された。
- ・ 話は面白かったが、結局どうするかがよくわからなかった。

④ 岡田先生

- ・ 基幹災害支援病院としての活動を詳しく知ることができた。
- ・ 平時に災害を想定した準備が必要と感じた。訓練のための訓練ではなく、災害時の教訓を基に必要な準備が必要。
- ・ 能登地震の医療体制を知ること南海トラフ地震への関心がより高まった。DMAT研修に参加したい。
- ・ 災害発生時の行動が具体的でわかりやすかった。当院だったら動くのか考えなければならぬ。自分の災害に対する考えが浅かったことを反省した。
- ・ 実際の災害の話が聞けてとても大変だったことがわかった。普段の訓練の重要性、連携の必要性、情報の共有の大切さを感じた。
- ・ 岡田先生の体験がとても勉強になった。当院のBCPの見直しを早急に行いたい。
- ・ 災害はいつ起こるかわからないので実際に被災した方の話を聞き、他人事ではいけないと感じた。
- ・ 当院からも支援に行ったが、他人事ではないということを改めて思った。貴重な講演をありがとうございました。
- ・ 災害現場の状況がすごく生々しく大変さがわかった。先生には全国で講演していただきたいと思った。
- ・ 当院で講演してほしい。
- ・ ニュースで甚大な被害があると伝わっていたが、実際の現場の状況を聞き心が痛んだが、復興への力を感じた。
- ・ 能登の災害に対する意識と緊迫した状況・対応に胸を打たれた。涙が出る思い。スタッフの方も家族の心配もあるのにとすると敬意を表します。
- ・ 能登の地震や豪雨での災害について、医療人としての対応もしかり、被災者でもある厳しさや辛さが身に沁みた。
- ・ 話を聞いて鳥肌が立った、石川県応援しています。
- ・ 能登のこと、忘れません、応援していきます。

●セミナー全体の感想および意見等

- ・ 医療安全について様々な視点で学習できた。
- ・ ヒヤリハット報告から医療事故報告まで幅広い対応や工夫の話が聞けて学びとなった。
- ・ 多岐にわたる話を聞き、やらなければならないことが見え、モチベーションアップにもつながった。
- ・ 普段は聞くことができない話が聞けてよかった。当院にも取り組みできるものは検討していきたい。
- ・ 院内の医療安全組織の強化をしなければならぬと改めて思った。大変勉強になった。
- ・ 安全管理の研修が少ないのでとてもためになった。
- ・ 医療安全管理者としてだけでなく、人としても学び経験を積んでいくことが人の理解にもつながるのだと思った。
- ・ 人材育成が様々な分野で必要となるため、スタッフの協力を得て育てていける環境をつくっていきたい。
- ・ 当院での取り組みを振り返る機会となった。改めて医療事故についてや自身の役割なども学べた。

●その他の意見・要望

- ・ 災害時の備蓄食料・医薬品の話がもう少し詳細に知りたかった。
- ・ 質疑応答時間が削られてとても残念。
- ・ 紹介、質疑時間も踏まえてスケジュールを組んでほしい。
- ・ プロフィールは資料にあるので、口頭での紹介は不要だと思う。その分時間通りに進行してほしい。
- ・ 放送設備（マイク）がよければよりよかった。
- ・ 医療安全推進週間は皆さん周知している。
- ・ 災害看護に関するセミナーに参加したい。

【第32回医療事故防止セミナー 会計報告】

●申込者数

【加盟団体】	申込数
全国自治体病院協議会	20
全国公立病院連盟	
全国厚生農業協同組合連合会	3
日本赤十字社病院長連盟	1
全国済生会病院長会	5
岡山県病院協会	2
日本私立病院協会	22
日本公的病院精神科協会	1
加盟団体 計	54
【その他】	
非会員病院	11
サポーターズクラブ他	2
その他 計	13
合 計	67

●会計収支

1. 収入の部

会員価格	(¥13,200 × 56 名) ※サポーターズクラブ含む	739,200 円
非会員価格	(¥15,400 × 11 名)	169,400 円
合 計		908,600 円

2. 支出の部

①会場費、設備使用料	297,550 円
②講演料、旅費	442,540 円
③案内印刷費等	15,731 円
④発送費	367,957 円
⑤講演資料代	28,847 円
⑥雑費（講師昼食代等）	26,755 円
合 計	1,179,380 円

収支差額 -270,780 円